

十主の平安！

ここ東北も赤い山躑躅が新緑の山の頂を燃えるように染める美しい季節になりました。梅雨の前の、一年で一番心地よいときです。

過日はわたくしども大船渡教会の一同をお招き頂き、まことに心温まるすばらしいおもてなしを忝なくいたしました。御挨拶が遅れましたが、心から御礼申し上げます。

初めて飛行機に乗って、空の上から富士山を眺めた老女の感激は言うまでもありません。伊丹空港に着いたときから、驚きと感動が始まりました。見あげれば頸の痛くなるような摩天楼が林立し、この気仙ではほとんど見ることもなくなつた数えきれない若者たちの群れを見、

珍奇な商品であふれ返る繁華な商店街を歩き、運河に遊び、御馳走に舌鼓を打ち、冷涼の地から来た者にはこれまた驚きの暑熱に汗をかき、見るもの聞くものすべてが物珍しい西の商都の有り様でした。

堺教会に着いたときにたくさんの方々が並んで笑顔と拍手で待っていていらっしやるのを見たわたくしどもの仲間には嬉し泣きに泣き出した者も少なからず。津波を生き延びて、畳二十五枚の小さな教会から来た者らにとってには驚くほど大きく立派な聖堂での熱烈な歓迎の数々に、これは夢かとわが耳目を疑うばかりでございました。

聖堂を退出したときの皆さまの慈愛の人間アーチも涙なくしては潜れず、幸せを骨身に染み込ませた体験でした。

次の日の大阪・玉造教会での催しでも諸民族が一堂に会して神さまを讃美する集いに与り、忘れ難い印象を頂きました。

あの、余りにもたくさんの熱い熱い思い出を心の中に消化するのにしばらく時間がかかってしまいました。どのように申し上げたらよいのか、見当もつかなかったのでございます。

皆さまから頂いた、お返しもできないほどの大きな愛の賜物に心からの御礼を申し上げます。この思い出をしっかりと胸に刻み、気仙の地に新しい時代を築いて参ります。たくさんさんの友情、ありがとうございます。

皆さまの上に神さまの限りない慈しみがございますように。皆さまの幸せをこのはるかな北の地から心をこめ

てお祈り申し上げます。どうぞこの喜びの祈りをお受け
くださいませ。

敬具

平成二十五年六月五日

カトリック大船渡教会

教会委員会代表

山浦玄嗣

カトリック堺教会の皆さま